

指定管理者総合評価シート

|       |                 |                   |      |
|-------|-----------------|-------------------|------|
| 施設名   | 成田市のぞみの園        |                   |      |
| 指定管理者 | 社会福祉法人 大成会      |                   |      |
| 指定期間  | 平成 29 年 4 月 1 日 | ～ 令和 4 年 3 月 31 日 | 2 年目 |
| 施設所管課 | 福祉部             | 障がい者福祉課           |      |

| 評価項目            | 評価基準   | 自己評価                              | 所管課評価 |   |
|-----------------|--|-----------------------------------|-------|---|
| I<br>実施体制に関する評価 | 施設管理   | 協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか         | A     | A |
|                 | 人員体制   | 仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか       | A     | A |
|                 |  | スタッフのシフトは適正であるか                   | A     | A |
|                 |  | 事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか        | A     | A |
|                 | 利用料金   | 利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか      | A     | A |
|                 | 外部委託   | 外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か        | A     | A |
|                 |  | 外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか          | A     | A |
|                 | 記録管理   | 業務日誌等を適切に作成・保管しているか               | A     | A |
|                 |  | 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか           | A     | A |
|                 | 報告書提出  | 協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか      | A     | A |
|                 | 連絡調整   | 市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか           | A     | A |
|                 | 危機管理   | 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか | A     | A |
|                 |  | 避難経路は適切に確保されているか                  | A     | A |
|                 |  | 事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか          | A     | A |
|                 | 個人情報保護   | 個人情報等の管理は適切か                      | A     | A |
|                 |  | 個人情報保護に関する規程が整備されているか             | A     | A |
|                 |  | 情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか         | A     | A |
|                 | 情報公開   | 情報公開に関する規程が整備されているか               | A     | A |
|                 |  | 協定書等に従い、情報を適切に管理しているか             | A     | A |
| その他             |  | —                                 | —     |   |
| 【総括 I】          | 実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 19 項目)  | A                                 |       |   |
| 指定管理者の自己評価      | 協定書、仕様書等に従い施設運営を行なった。建物の老朽化が進み、あちこちに不具合が出てきているが、障がい者福祉課にこまめに報告し、市にお願いできる場所は対応していた。また、事業所でも対応すべきものは速やかに修繕を行なった。今年度は事故や流行性疾患はなかった。   |                                   |       |   |
| 施設所管課の評価        | 建物は、本館・別館いずれも老朽化が進んでおり、現に支障をきたしている箇所等については、市と指定管理者の協議のもと、修繕を進めることができている。翌年度に建物劣化診断等調査を実施するため、市と指定管理者で連携し、改修等に向けた取組をさらに進める。また、協定書、仕様書等に従って滞りなく施設運営が行われているが、マニュアルを随時見直し、緊急時等に適切に対応できる体制を確保できるように取り組まれない。 |                                   |       |   |

| 評価項目                   | 評価基準                                  | 自己評価                               | 所管課評価 |   |
|------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-------|---|
| II<br>サービスの内容や水準に関する   | 利用者対応                                 | 施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか         | A     | A |
|                        |                                       | 言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか              | A     | A |
|                        | 利用案内                                  | ホームページは計画どおりに運用されているか              | A     | A |
|                        |                                       | 利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか       | A     | A |
|                        | 利用状況                                  | 施設の利用者数や稼働率は適正であるか                 | A     | A |
|                        |                                       | 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか               | A     | A |
|                        | 事業の実施                                 | 事業計画書に則し、指定事業を実施しているか              | A     | A |
|                        |                                       | 施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか             | A     | A |
|                        |                                       | 各事業の参加者数は、計画どおりであるか                | A     | A |
|                        |                                       | 参加促進への取組を積極的に実施しているか               | A     | A |
|                        | 環境への配慮                                | 省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか          | A     | A |
|                        | 苦情等の対応                                | 苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか           | A     | A |
|                        | 利用者への調査                               | 利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか           | A     | A |
|                        |                                       | 利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか    | A     | A |
|                        | 維持管理                                  | 施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか | A     | A |
| 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか |                                       | A                                  | A     |   |
| 備品台帳により記録が適切に保管されているか  |                                       | A                                  | A     |   |
| 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか |                                       | A                                  | A     |   |
| 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか  |                                       | A                                  | A     |   |
| その他                    |                                       | —                                  | —     |   |
| 【総括 II】                | サービス等の内容や水準に関する評価(標準 19 項目・本施設 19 項目) | A                                  |       |   |

指定管理者総合評価シート

|    |            |   |
|----|------------|---|
| 評価 | 指定管理者の自己評価 | 30年度は利用者が定員を割ることなく1年間運営することができ、年間の出勤率(稼働率)も98.67%と前年度を大きく上回ることができた。年度末にはチャレンジドオフィス成田への就職者も出すことができた。今後も利用者確保への取り組みを継続していく。30年度は工賃支払規約の見直しやケース記録の開示により保護者様から様々なご意見を伺う機会が多かったが、その都度、ご理解を得られるよう丁寧に対応した。 |
|    | 施設所管課の評価   | 定員の人数は年間を通じて確保しており、出勤率についても昨年度から約10%改善していることから、翌年度も利用者の安定的な確保及び出勤率の維持に努められたい。<br>なお、維持管理については、翌年度に建物劣化診断等調査を実施するため、改修が必要な箇所の洗い出しや実施での調査等に協力していただく。  |

| 評価項目             | 評価基準   | 自己評価  | 所管課評価 |   |
|------------------|--|---|-------|---|
| III<br>收支等に関する評価 | 経理事務   | 指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか<br>専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか<br>料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか | A     | A |
|                  | 予算執行   | 収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか  | A     | A |
|                  |  | 収支計画と事業計画の整合はとれていたか   | A     | A |
|                  | 経費節減   | 経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか   | A     | A |
|                  | その他  |   | —     | — |
|                  | 【総括 III】   | 收支等に関する評価(標準 6 項目・本施設 6 項目)   | A     |   |
| 指定管理者の自己評価       | 事業収入の増加については、利用者の確保、休日営業の実施、送迎開始等の努力により実現することができた。経費については、臨時職員の正規職員への転換などで人件費等がやむを得ず増加している。今年度、平均工賃月額の実績をあげたことにより、次年度の基本報酬単価を一段階上げることができた。 |   |       |   |
| 施設所管課の評価         | 收支等に関しては概ね適正に管理、執行されている。基本報酬単価の上昇は利用者の工賃向上に資するものであり、かつ指定管理者が請求する障害福祉サービスの単位向上にも反映されることから、翌年度以降についても工賃向上に向けた取組を継続されたい。                      |   |       |   |

| 評価項目             | 評価基準/目標は達成されたか   | 数値目標  | 自己評価                      | 所管課評価 |   |
|------------------|--|---|---------------------------|-------|---|
| IV<br>目標管理に関する評価 | 目標①  | 利用者の工賃配分金を支払うために必要な売上の確保(平成30年度 利用者55名想定 総支払額15,840,000円) | 総売上目標51,000,000円(経費70%以下) | B     | A |
|                  | 目標②  | 利用者の月額平均工賃目標達成  | 月額目標24,000円               | A     | A |
|                  | 目標③  |   |                           | —     | — |
|                  | 【総括 IV】  | 目標管理に関する評価(標準 3 項目・本施設 2 項目)                              | A                         |       |   |
| 指定管理者の自己評価       | 目標①(利用者の工賃配分金を支払うために必要な売上の確保 総売上目標51,000,000円 経費70%以下)については、総売上49,153,132円 経費74.9%で、どちらも目標数値を達成することができなかったが、利用者数が当初の想定よりも少なくなったため、工賃配分金は目標額以上の金額を支払うことができた。<br>目標②(利用者の月額平均工賃目標達成 月額目標24,000円)については、年度末に支払った賞与も含めて月額平均工賃24,127円を支払うことができ、目標を達成した。また、平均工賃月額の算出除外要件に当てはまる者を除いた平均支給額は、25,001円となったので、平成31年度からの基本報酬単価を一段階上げることができた。 |   |                           |       |   |
| 施設所管課の評価         | 目標①については、中間評価では達成見込みとされていたが、数値目標を達成することができなかった。事業活動計画書において、自主生産事業(プリント製品等)の収益が落ち込んでいることから、製品のPRのみならず、魅力的な製品づくりに努められたい。<br>目標②については、中間評価時は達成できていなかったが、賞与の支給を行い、最終的には目標数値を上回ることができた。また、千葉県内の就労継続支援B型事業所の平均工賃(平成29年度データ 月額のみ平均額 14,308円)についても上回っている。引き続き利用者の工賃向上に向けた取組を継続されたい。  |   |                           |       |   |

|   |        |                |   |
|---|--------|----------------|---|
| V | 【総合評価】 | I～IVの総括による総合評価 | A |
|---|--------|----------------|---|

|            |          |  |
|------------|----------|--|
| VI<br>特記事項 | 特に評価される点 | 月額平均工賃は24,127円で、千葉県内の就労継続支援B型事業所の平均工賃(平成29年度データ 月額のみ平均額 14,308円)を上回っている。また、千葉県工賃向上計画においては、平成32年度の目標値が月17,000円とされており、計画期間初年度から達成することができている。   |
|            | 改善が望まれる点 | 総売上額が目標額に達成することができなかった。自主生産事業(プリント製品等)の収益が落ち込んでいることから、製品のPRのみならず、魅力的な製品づくりが必要と思われる。<br>なお、建物の老朽化が進んでいることから、令和元年度に建物劣化診断等調査を実施するが、のぞみの園の運営に支障をきたさないよう、市と指定管理者が連携し、必要な修繕を行っていく必要がある。 |